

ひたちなか市教育委員会会議録

平成28年 第12回 ひたちなか市教育委員会11月定例会 会議録					
平成28年11月8日		開会 午後2時00分		閉会 午後3時00分	
○場 所	前渡小学校 北校舎 多目的室				
○出席委員	教育長 木下 正善	委 員 小田島 俊夫	委 員 石田 厚子	委 員 西野 信弘	委 員 白石 愛子
○欠席委員					
○会議に出席した構成員	補 職 名			氏 名	出・欠
	教育次長			根本 宣好	出席
	総務課長			湯浅 博人	出席
	参事（教育担当）			橋本 清文	出席
	参事兼指導課長			関口 拓生	出席
	施設整備課長			澤畠 恵一	出席
	学務課長			箱崎 勝子	出席
	青少年課長			堀江 貴美代	出席
	中央図書館長			笹沼 義孝	出席
	○事務局員	総務課係長			狩谷 智則
総務課主幹			黒澤 一彦	出席	
○議 事					
1 議案	議案第21号	平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校（仮称）の建設場所の選定について【公開】			
	報告第3号	平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校整備等推進委員会設置要項の制定について【公開】			

平成28年第12回ひたちなか市
教育委員会11月定例会会議録

開会 14:00

教育長 (開会宣言)

議案第21号 平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校(仮称)の建設場所の選定について

施設整備課長 以前、教育委員の皆様、平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校(仮称)の建設候補地についてご説明させていただきましたが、この度計画としてまとまりましたので、議案として提出させていただきました。それでは、議案について、ご説明いたします。

ひたちなか市立平磯小学校、ひたちなか市立磯崎小学校、ひたちなか市立阿字ヶ浦小学校、ひたちなか市立平磯中学校、ひたちなか市立阿字ヶ浦中学校を統合する平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校(仮称)の建設場所について、次のとおり選定いたします。

○建設地概要

所在地 ひたちなか市磯崎町字入道 5122 番地 外 38 筆
地権者 35 名
地目 畑 37 筆, 宅地 1 筆, 雑種地 1 筆
面積 約 61,200 m²

○候補地選定理由

- ・新しい教育理念に基づく小中一貫統合校を建設するために、必要な校地面積と形状が確保できる。
- ・平磯・磯崎・阿字ヶ浦の3地区からの物理的・心理的距離や、各地区内にある学校設立の歴史的・社会的な背景を考慮した場合、最適な位置にある。
- ・ひたちなか海浜鉄道湊線に近接し、磯崎～平磯の幹線道路である市道7号線にも面しているため、児童・生徒の安全安心な通学路が確保できる。

建設予定地の現況としましては、ほとんどがサツマイモ畑となっていますが、北東の角地には住宅1軒建っており、この1筆が宅地となっております。地権者の意向を確認しましたところ、移転を希望されておりますので、これらの画地すべてを建設予定地とし、東西約204m、南北約300mの敷地となります。

また、建設予定地の西側は幅員9.5mの市道7号線に面しているとともに、建設予定地の北側を走る道路を西側に1区画進みますと、ひたちなか海浜鉄道

湊線と交わります。ここに、新駅を建設しまして、通学等のために利用していただく計画です。

【質疑、意見等】

小田島委員 各学校の保護者や先生方を対象に説明会を行ってきた中で、通学路に対する意見や要望等が多く出されたと聞いていますが、その時、特にこれは強く要望したい、というような意見があったのか、またそうした意見についてどのように対処されたのか、教えていただけますか。

施設整備課長 該当する学校区毎に説明会を行ってまいりましたが、その中で、通学の安全安心に関するご質問は特に多かったように思います。通学手段に関しましては、ひたちなか海浜鉄道湊線の利用、若しくはこれまでのどおりの徒歩又は自転車、このほか阿字ヶ浦地区の一部で路線バス利用による通学が現在も行われていますので、スクールバスの手配などについてのご質問もありました。説明会の段階では、通学に関して計画がまとまっておりませんでしたので、意見として承ったところです。

石田委員 統合校の学区を示す境界線がひたちなか地区方面へ伸びていますが、どこまでがエリアとなるのですか。

施設整備課長 阿字ヶ浦地区の北側・西側に広がる、ひたちなか地区までが学区のエリアとなりますので、国営ひたち海浜公園の敷地も、その一部となります。ひたちなか地区には住居等がないので、実質的には（国営ひたち海浜公園の南側に面する）県道の南側から常陸那珂工業団地の東側が学区になると思います。

* 議案第21号 平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校（仮称）の建設場所について、全員一致で承認されました。

報告第3号 平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校整備等推進委員会設置要項の制定について

総務課長 平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校整備等推進委員会設置要項について、ご説明いたします。平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校整備等推進委員会（以下「推進委員会」という。）については、小中一貫統合校の施設整備、学校運営等について、総合的に調査、検討及び協議等を行うために設置するものでございます。推進委員会の委員長には教育長、副委員長には教育次長、推進委員には市長部局の関係課長、農業委員会事務局次長、教育委員会事務局の関係課長のほか、学校関係者として校長会長、3地区の小中学校の校長にメンバーとさせていただく予定でございます。この推進委員会を中心に調査検討を行うわけですが、下部組織としまして部会を設置する予定です。部会としましては、

学校運営等検討部会、施設整備等検討部会、通学等検討部会、校名等検討部会、跡地利用検討部会の4つの部会を設置しまして、それぞれ検討を行います。部会長については、推進委員の中から委員長が指名する形で部会長を置き、そのほか副部会長及び部員として、市の関係課の職員、3地区の小中学校の先生方にメンバーとなっていただく予定です。このほか、PTA、地域コミュニティの関係者等についても、ご意見をいただきながら、小中一貫統合校整備等の推進のため検討を進めてまいりたい、というふうに考えております。

【質疑、意見等】

- 小田島委員 当然、こういった委員会を立ち上げて今後のスケジュール等を決めていくことになると思いますし、4つの部会それぞれに難しい課題があり大変な作業になると思いますが、スケジュール的にはどのくらいの期間を空けて、いつ頃から開始していくのか、教えていただけますか。
- 総務課長 本要項を10月25日制定するとともに、推進委員会のメンバーとなる方々に説明をしまして、11月11日に第1回目の推進委員会を開催する予定でございます。この第1回目の委員会で部会長を決めたうえで、できれば年度内には各部会を招集して、検討を進めていきたいと考えております。
- 小田島委員 部会については、推進委員会以外の方などが随時メンバーに組み込まれて、人数的にはより幅ができるようなイメージになるのですか。
- 総務課長 部員については、関係課の職員や、3地区の小中学校の先生方を中心として構成しますが、例えば校章や校歌など地域がかかわるような部分については、コミュニティやPTAの方に随時出席いただいて、ご意見をいただきながら進めていくことも考えています。
- 小田島委員 とくに小中一貫教育を行うということ、学校経営に関することや教育課程の立案など非常に難しい課題に対し、時間をかけて取り組んでいかなければならない部分があると思うのですが、この辺りについては部会においてで詳細に検討していくことになるのですか。
- 総務課長 場合によって、学識経験者や有識者にもご意見いただきながら進めていくことも想定しております。
- 石田委員 今後、小中一貫統合校としてどういう特色をもたせていくのか、こうした組織の中で考えていくことと思いますが、例えばこんな学校にしたい、とか現時点で何か考えていることがあれば聞かせてもらえませんか。
- 指導課長 本市の場合、これまで校種間の滑らかな接続として小中連携には取り組んできましたが、統合校ではそういったところをさらに推進できるものと期待しております。どのような特色を持たせるか、という部分について、具体的にはこれからとなりますが、例えば、教育長が常日頃仰っている「夢・感動・笑顔」

とか、そういったところをキーワードにして、話し合っていきたいと考えています。また、平磯・磯崎・阿字ヶ浦という3つの地区を統合した学校になるので、これまでの学校や地域に根付いた伝統的なものも大切にしながら、考えていきたいと思います。

石田委員
指導課長

学年はどうなりますか。

学年の構成については様々なパターンが示されている中で、どういった形がよいか、また、小中一貫になる中で、小学校の卒業式をどうするか、という課題についても、これから相談していきたいと思います。

小田島委員

施設的には、小中一貫校なので、こういったイメージのものをつくりたい、といったような構想を持っていますか。

施設整備課長

先進事例を見ますと、異学年交流施設を充実させることが義務教育学校としての成功例の一つと聞いておりますので、そういった施設も充実させていきたい、と考えております。

教育長

他市の先進事例を視察する計画もあります。

西野委員

5つの小中学校が統合すると、児童生徒数は何名くらいになるのですか。

教育長

現在5校合わせて児童生徒は約590名ですが、（開校する）5年後には約500人になると予想しています。

西野委員

10年後には、もっと減ることも考えられますか。

教育長

3地区の人口推移を見て将来の児童生徒数を予想しますと、減少傾向にあることが少し懸念されますが、阿字ヶ浦地区においては区画整理が施行中ということもあり横ばいに近い傾向にあります。これから新しい学校が建つということで、地域に何らかの変化が出てくるといいますし、減少の仕方についても緩くなっていくものと期待しております。

西野委員

メリットを求めて学校を統合すると思いますが、何年までには開校させたいと考えていますか。

教育長

1学年1学級になっては統合する意味が薄れてしまうので、1学年2学級に保てるまでに開校させたいと考えているところです。

施設整備課長

これから用地交渉等を控えているところですが、平成33年4月開校を目指しております。

教育長

（暫時休憩の宣言）

* 暫時休憩の後、前渡小学校と懇談を行いました。

閉会 15:00